



No. 2 令和7年
5月22日



すずか幼稚園
第2すずかきしおか幼稚園

花まつり

お釈迦さまがお生まれになった日(4月8日)をお祝いする仏教行事は、灌仏会(かんぶつえ)や降誕会(ごうたんえ)などと呼ばれ、通称を「花まつり」と言います。これは、お釈迦さまのお母様であるマヤ夫人がルンビニー園という美しい花園出産されたところから、咲き誇る花々を飾り付ける行事となっているのです。

本園では毎年、花まつりを旧暦の4月8日前後に実施しており、令和7年は5月5日がその日に当たるため、5月8日(木)にすずか幼稚園で、9日(金)に第2すずかきしおか幼稚園で実施しました。

当日は、ご家庭にある花を持ち寄っていただきたい旨をご依頼したところ、多くのご家庭から子どもたちが花を持ち寄り、飾り付けることができました。ご提供いただいた花の一部は花束にして、園と付き合いのある老人施設に子どもからの手紙などとともにお届けしました。

花まつりでは、花御堂(はなみどう)の中に納められている「誕生仏(たんじょうぶつ)」に甘茶をかけて「元気に大きく成長できますように」と手を合わせます。誕生仏とは、お釈迦さまはお生まれになってすぐに7歩歩かれて、右手で天を指さし左手で地を指して「天上天下唯我独尊(てんじょうてんげゆいがどくそん)」と叫ばれたとの説から、天と地を指さしている小さなお釈迦さまのことです。

花まつりのもう一つの行事は、「白象のパレード」です。白象とは、前述のマヤ夫人が寝ている時に口から白い象が入っていき、お釈迦さまが生まれたとの言い伝えからくるもので、神聖な象として崇められています。

すずか幼稚園では午後から年長組が園庭をパレードし、第2すずかきしおか幼稚園では駐車場をパレードしました。8日は天候に恵まれましたが、9日は雨模様でした。雨の切れ間の間に急いでパレードを実施しました。

どちらの幼稚園でも、子どもたちは白象を引っ張りながら、楽しそうな様子が見られました。



夏野菜の植え付け

本園では、年中組が園の畑で野菜を育て、成長する様子を観察したり世話をしたりして、収穫した後に家に持ちかえるという「食育」に取り組んでいます。

春から夏にかけてキュウリ、ナス、ピーマン、トマトなどの「夏野菜」を、秋から冬にかけて「大根」を育て、収穫した野菜を持ち帰ります。

すずか幼稚園では4月25日(金)に、第2すずかきしおか幼稚園では5月12日(月)に、園の畑に夏野菜の苗を植え付けました。

子どもたちは、先生から植え付けの手ほどきを受け、野菜の苗を大事そうに両手で持ちながら植え付けていきました。植え付けた苗に「大きくなってね」と声を掛ける子もいましたし、苗に土をかけるときに傷つけないように、そっと土をかける子、植え付け終わった苗を満足げに見ている子もいました。

この後、子どもたちは野菜の世話や成長の観察などを行っていきます。



親子遠足

本年度の親子遠足は、5月16日(金)に実施しました。

この週の週初めの天気予報では、16日は雨マークがついていましたが、当日は快晴とは言えないものの雨に悩まされることはありませんでしたが、ちょっと蒸し暑い日でした。

年少組と年年少組は鈴鹿サーキット、年中組は鳥羽水族館、年長組は東山動物園と、それぞれの目的地で親子の触れ合い、友だちとの触れ合いを楽しむことができました。

昼食は、目的地のレストラン等をご利用されたご家庭もみえましたが、ご家庭から準備されたお弁当を食べてみえるご家庭も多かったように感じます。朝早くからお弁当を作っていたくのも大変だったと思いますが、美味しそうにお弁当を囲んでみえる様子を拝見すると、お子さま方の笑顔が印象に残りました。

年少組と年年少組はサーキットで一日を過ごし、年中組は鳥羽駅から水族館までと道のりを歩き、年長組は動物園を歩き回り、それぞれの学年ともにお子さま方は疲れたのではないのでしょうか。また、保護者の皆様も、お子さま方と同じだけ歩かれたのですからお疲れになったことと思います。

親子遠足での疲れが、いい思い出としていただけたなら幸いです。

